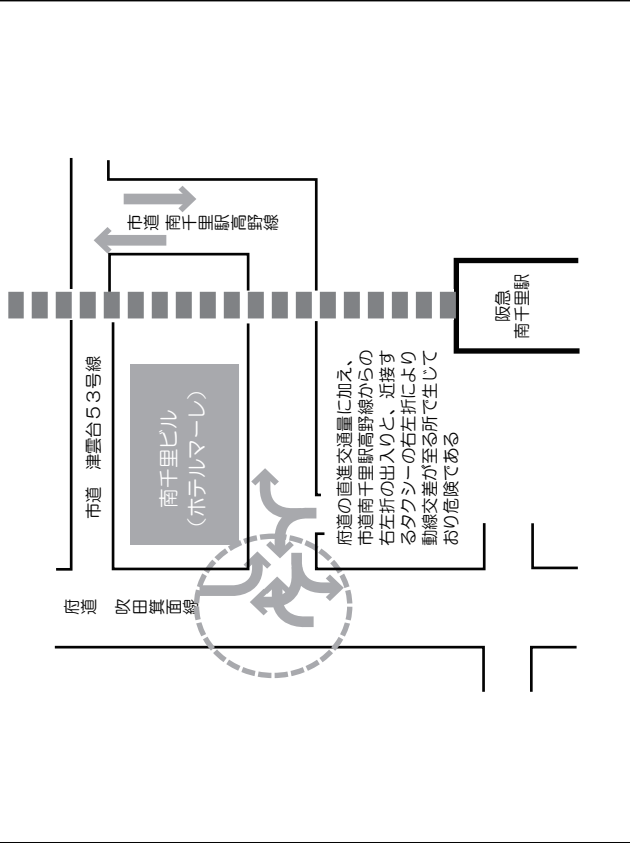
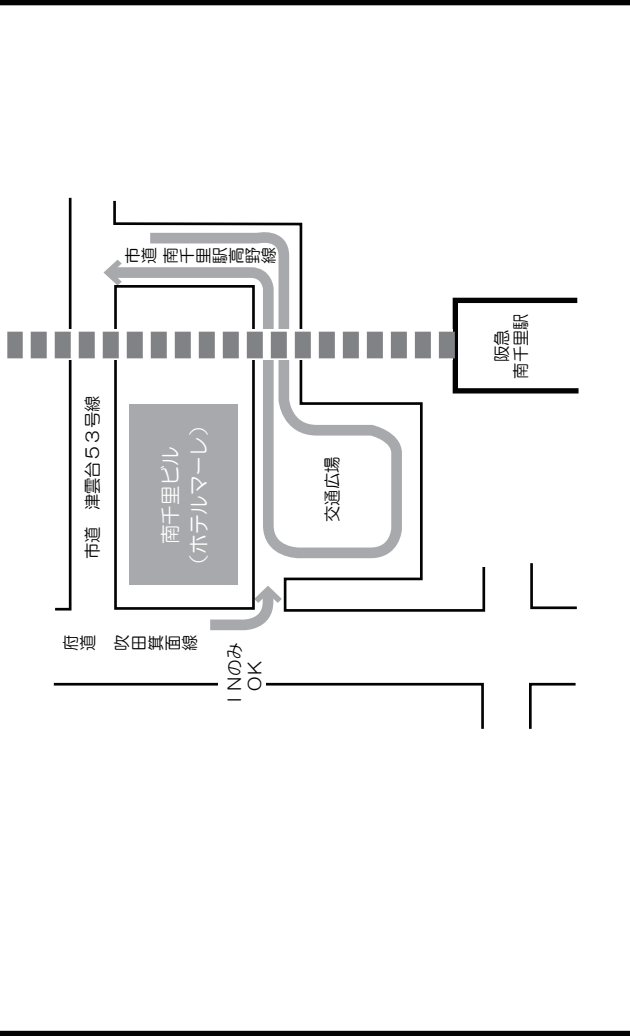
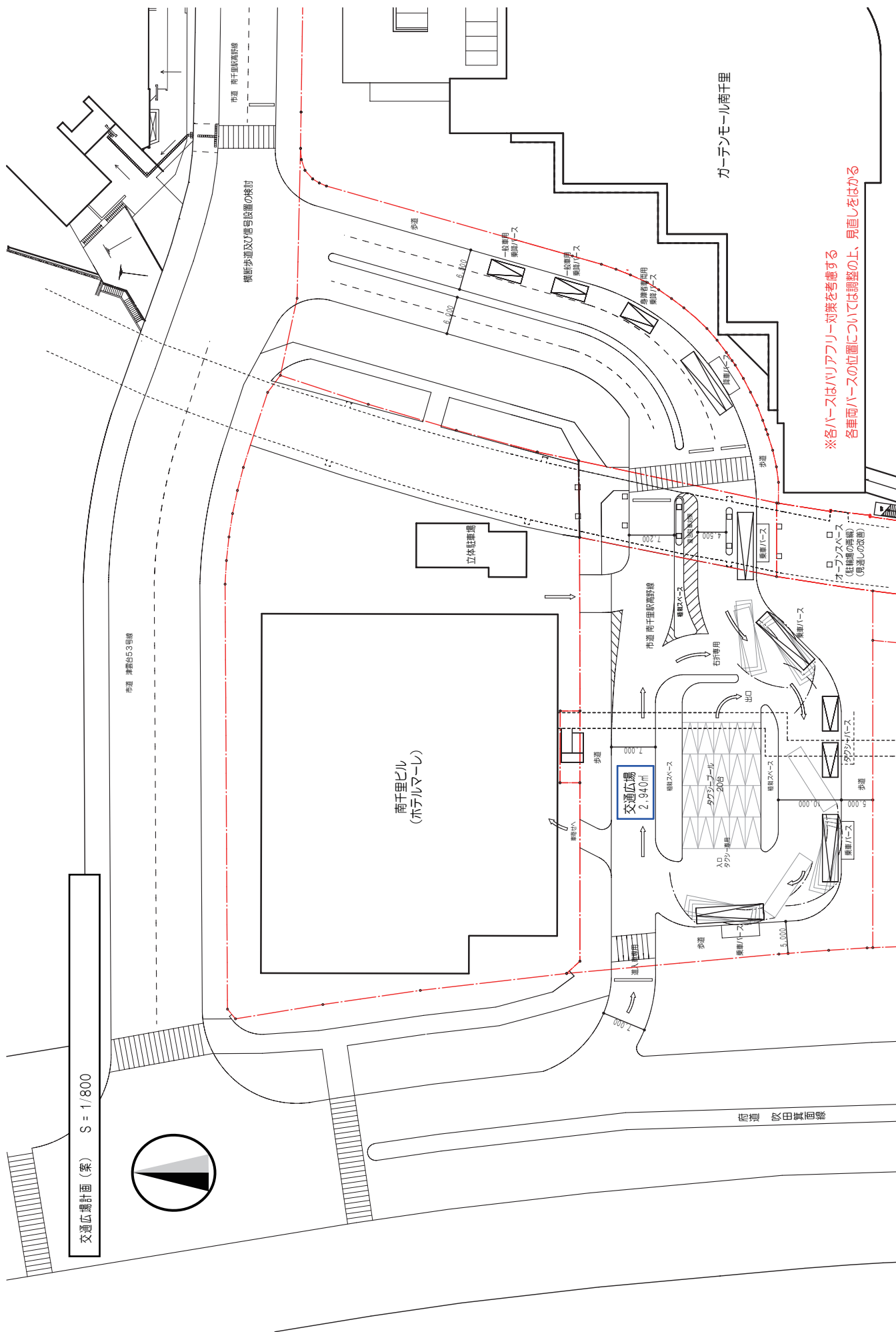


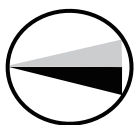
## ウ. 交通広場計画

### 交通広場アクセスルートの検討

現 況	交通問題の解消を行った案
 <p>府道 吹田箕面線</p> <p>市道 津雲台53号線</p> <p>南千里ビル (ホテルマール)</p> <p>府道 南千里駅高野線</p> <p>阪急 南千里駅</p> <p>府道の直進交通量に加え、市道南千里駅高野線からの右左折の出入りと、近接するタクシースの右左折により動線交差が至る所が生じており危険である</p>	 <p>府道 吹田箕面線</p> <p>市道 津雲台53号線</p> <p>南千里ビル (ホテルマール)</p> <p>交通広場</p> <p>府道 南千里駅高野線</p> <p>阪急 南千里駅</p> <p>I Nのみ OK</p>
<p>【状 況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府道吹田箕面線の交通量が南側行き交通量で平日で11,000台を超える台数があり、また、市道南千里駅高野線との交差点においては信号がない状況である。</li> <li>・さらに市道からの右左折入りがあり、特に市道から左折し、「南千里駅」交差点を右折して桃山台方向に行く車両が多く、3車線を横断した形で右折レーンに進入するケースが多く、交通渋滞を引き起こす要因とともに、危険な状況である。</li> <li>・また、歩行者にとっても信号がないため、横断時の距離が長いということもあり、危険な状況になっている。</li> <li>・上記とともに、現在のタクシースプールとなっている場所からの出入りや、ホテルマールへの車寄せ、中央分離帯付近の違法駐車などが重なり危険度を増している。</li> </ul>	<p>【特 徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者及び車両動線の機能性を維持しながら、安全性に配慮した交通広場計画を行う。</li> <li>・駅への広域的なアクセスを念頭に置き、現在のアクセスを可能な限り取り入れた案。</li> <li>・府道吹田箕面線の交通負荷をなくした案。</li> </ul> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府道吹田箕面線の渋滞解消と事故防止につながる。</li> <li>・歩行者の南北交通（横断歩道）が安全となる。</li> <li>・府道吹田箕面線に至るまでの滞留距離が十分に確保できる。 （市道津雲台53号線がその役割を担う）</li> <li>・府道吹田箕面線の北側からのアクセスを可とすることで、府道に負荷をかけず北部方面からの利便性が確保できる。</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南側方面からのアクセスが不便となる。（回り込むことになる）</li> <li>・府道吹田箕面線への南側への左折ができなくなりバス及びタクシースの営業に影響を及ぼす。</li> </ul>



交通広場計画 (案) S = 1/800



※各バスはバリアフリー対策を考慮する  
各車両バスの位置については調整の上、見直しをはかる

# エ. テッキ計画

地区センター内テッキレベル計画

